

従業員のコミュニケーション力向上が 会社を変える ～組合員企業の合同社員研修会を開催～

協同組合ハイコープ山梨地区本部(太田丈三地区本部長 組合員23社)は、組合員企業の従業員を対象に共同で人材育成と交流を目的に様々な事業を実施しており、6月10日に上村直子氏(FP&コミュニケーション)を講師に、「仕事に活かせるコミュ



グループワークでのディスカッション

ニケーション」をテーマとした合同社員研修会を開催、従業員約100名が参加した。

研修会では、冒頭で、様々な人とコミュニケーションを図るために必要な適切な質問と傾聴、自己開示の重要性を実感するためのゲームを行った。次にコミュニケーションの必要性についての説明を受けた後、6～8人のグループに分かれて、与えられたテーマ・条件に基づいてグループ内でコンセンサスを作り上げていくゲームを行った。グループワークでは、リーダー・調整役・盛り上げ役の役割が自然とつくり、活発なディスカッションを経てコンセンサスが得られることを体験した。

上村先生は、コミュニケーションアップの極意として、①笑顔 ②自己開示をして共通点を探すこと ③リアクション ④距離感を拳

げ、良いコミュニケーションのある職場は、能力が上がり、効率が上がるとまとめた。

太田本部長は、「当組合では企業の活力アップのためには、経営者の勉強会・情報交換だけでなく従業員の交流も重要であると考え、異業種会員企業の社員同士の交流の場をもつ事業にも取り組んでいる。組合も10年を経過し、こうした取り組みは徐々に組合内に根付いてきている。今後も楽しくみんなが参加でき交流できる事業を企画し、他社の社員との交流から新たな発想や気づきを持ち帰ることができる場として継続し、組合事業を通じた会員企業の発展に期待したい。」と述べた。



講師の上村直子氏